

2012年12月18日 CIGS シンポジウム「海洋立国への新たな展開」

中国の海洋戦略と尖閣諸島問題

キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 美根慶樹

中国の国家的課題

- 国家統一 → 残るは台湾の統一
- 海洋大国になる

立ちはだかる米国

- 台湾問題
- 海洋への進出
- 宇宙への進出
- 過去の屈辱



米国との協調

- 軍事交流
- 戦略経済対話 2012年5月

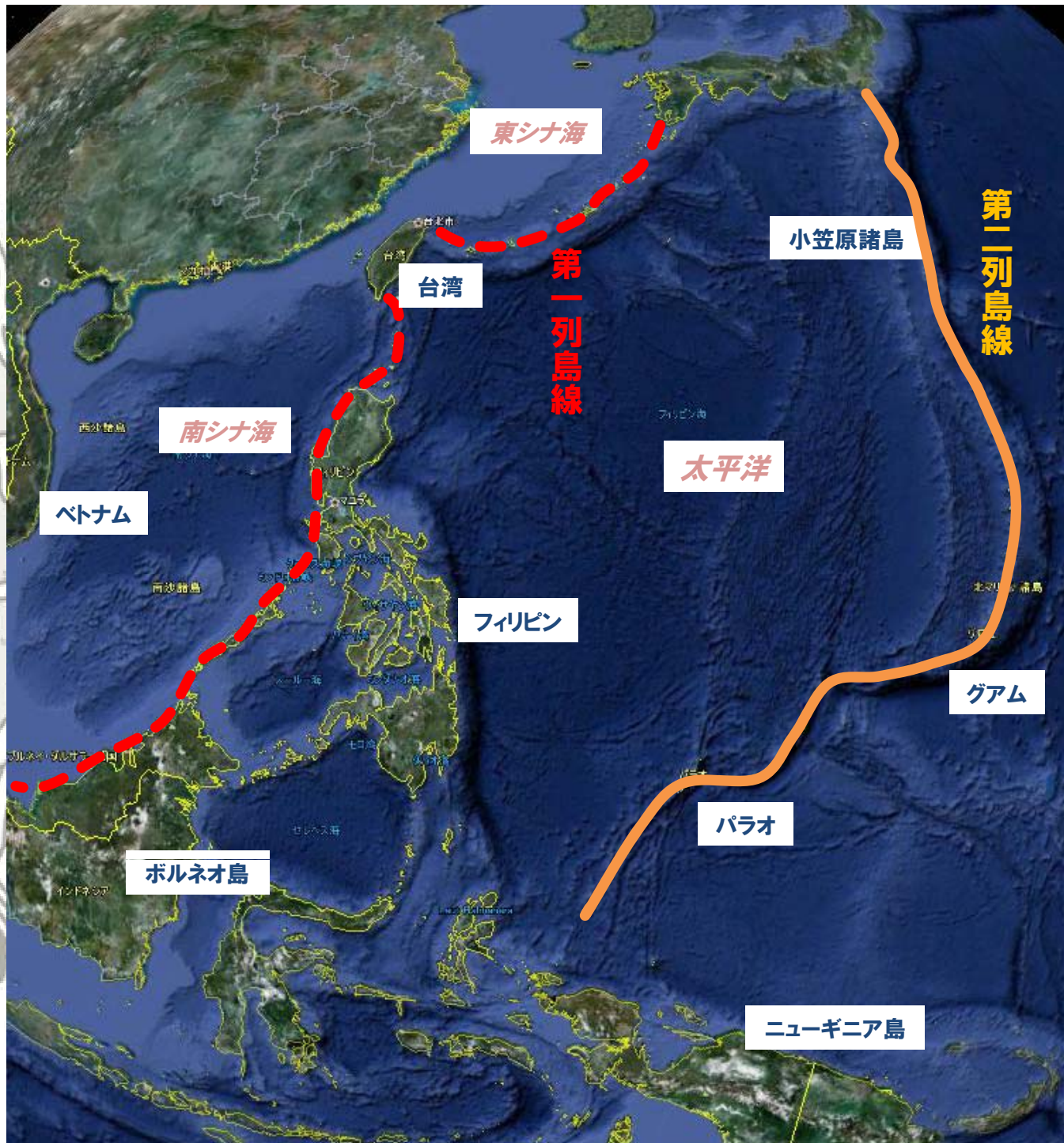


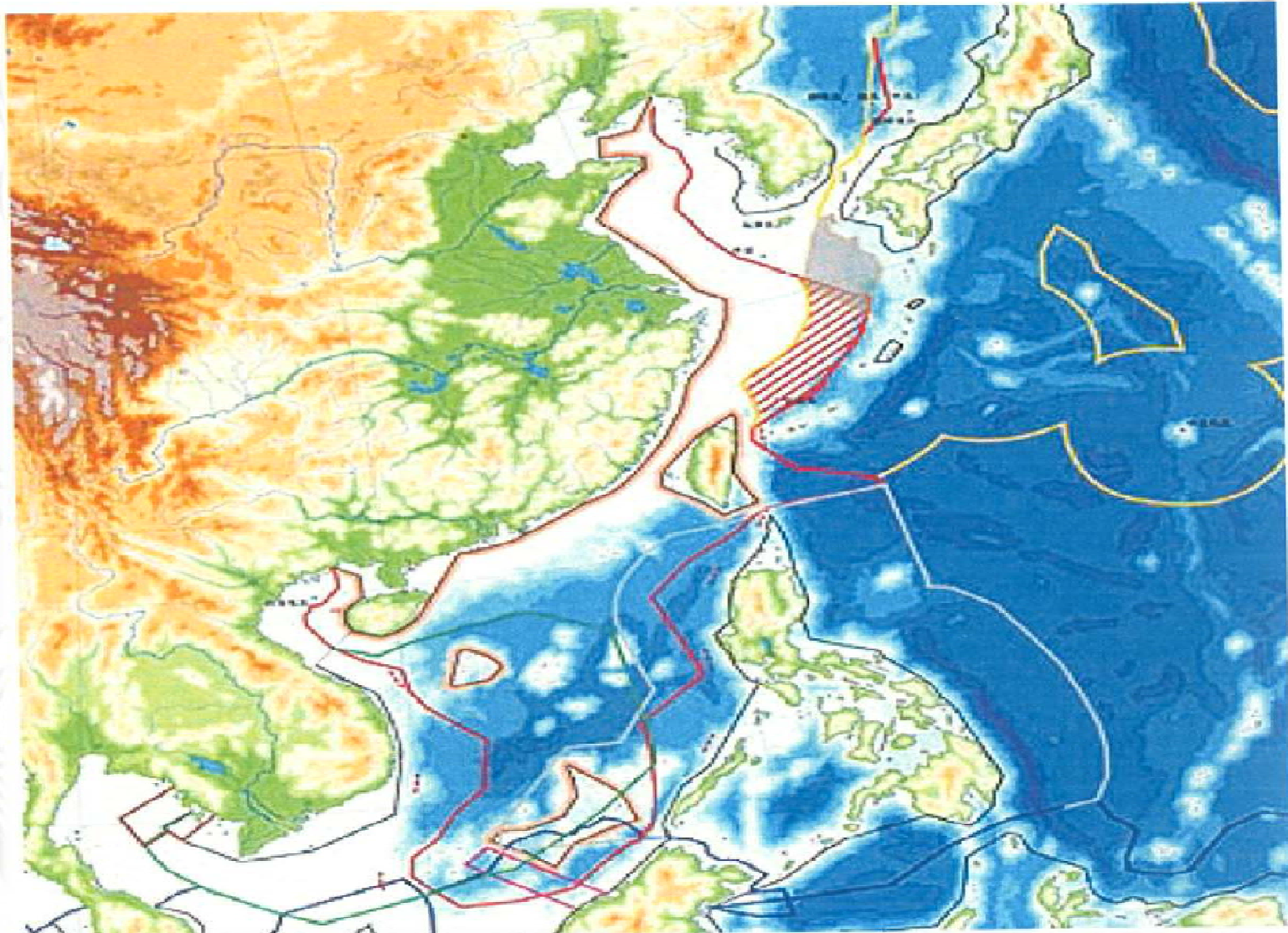
海洋大国化宣言

- 国内秩序が回復し、改革開放政策の再開後、あらためて海洋に対する関心が高まった。
- とくに、1989年の全国人民代表大会政府活動報告や、1992年の共産党第14回代表大会での江沢民総書記による「**領海の主権と海洋権益の防衛**」が必要であるとの演説以降、海洋権益の擁護に猛然と取り組み始めた。



http://blogimg.goo.ne.jp/user_image/6e/6e/f856a256a1b6e3eff19857d4a9797389.jpg





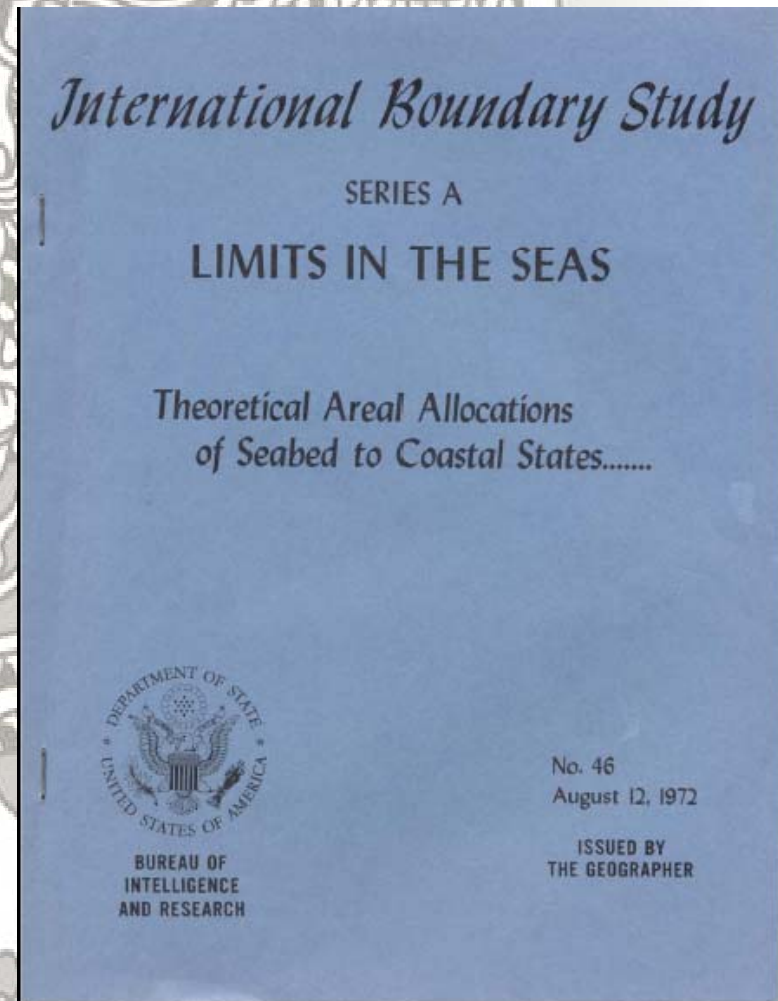


第一列島線

- 排他的經濟水域(EEZ)
- 大陸棚
- 領海法

排他的経済水域 (EEZ)

- 中国は「管轄権を及ぼす海域は約300万km²に達する」と主張している。
- 日本や米国などでは、中国のEEZについて約88万km²という数字を使うことが多い。
(公的なデータとしては1972年に米國務省が作成した古い推定くらいしかない)
- これを前提にすれば、中国は、世界で第15位であり、第6位の日本の約1/5に過ぎない。



大陸棚に対する沿岸国の権利

- **第77条 大陸棚に対する沿岸国の権利**

1項 沿岸国は、大陸棚を探索し及びその天然資源を開発するため、大陸棚に対して主権的権利を行使する。

- **第83条 向かい合っているか又は隣接している海岸を有する国の間における大陸棚の境界画定**

1項 向かい合っているか又は隣接している海岸を有する国の間における大陸棚の境界画定は、衡平な解決を達成するために、国際司法裁判所規程第38条に規定する国際法に基づいて合意により行う。

領海法

- 台湾、尖閣諸島、澎湖諸島、東沙諸島、西沙諸島、南沙諸島は中国の領土である。
- 中国があくまでそのような主張を貫こうとすれば、国際的な摩擦・紛争を惹起する恐れが大きい。



第二列島線

- 台湾有事の場合に、米国の艦船への補給、増強などを制限する範囲

戦略的国境

国境の概念には、領土・領海などのような
地理的国境とは別に、

**「国家の軍事力がコントロールする
国家利益と関係のある
地理的・空間的範囲」**

**「国家と民族の生存空間であって、
国家の安全と発展を保障する上で
極めて重要」**

な境界がある。



近海防衛戦略

- 「近海」とは？
- 沿岸都市の防衛
- 台湾有事
- 台湾以東への進出
- 海上多層縦深防衛
- 空母の就役
- シーレーン防衛

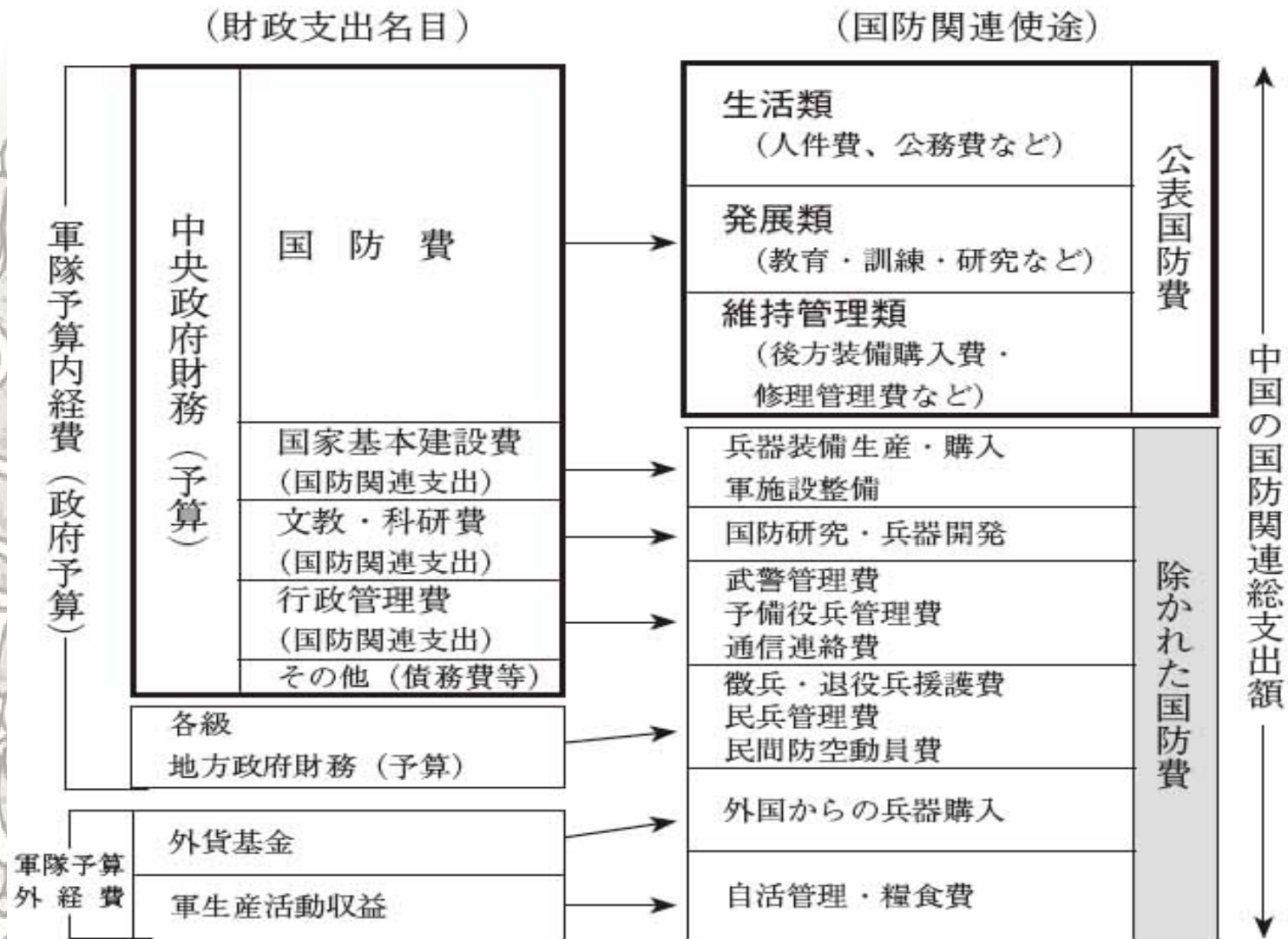
図表 13-1 2000～2011年の中国国防費の基本データ

年度	国防費（億元）	対前年比伸び率	GDP（億元）	GDPに占める割合
2000	1,207.5	12.2%	99,214	1.2%
2001	1,442.0	19.4%	109,655	1.3%
2002	1,707.8	18.4%	120,332	1.4%
2003	1,907.9	11.7%	135,822	1.4%
2004	2,200.0	15.3%	159,878	1.4%
2005	2,475.0	12.5%	184,937	1.3%
2006	2,979.4	20.4%	216,314	1.4%
2007	3,554.9	19.3%	265,810	1.3%
2008	4,182.0	17.6%	314,045	1.3%
2009	4,951.1	18.4%	340,903	1.5%
2010	5,333.4	7.8%	401,202	1.3%
2011	6,011.6	12.7%	471,564	1.3%

注：2000～2010年の国防費は実績額、2011年は予算額。

（出所）【RP旬刊 中国内外動向】（ラヂオプレス、2011.3.9）p.3、【中国統計年鑑】2011年版、2011年は中国統計公報。

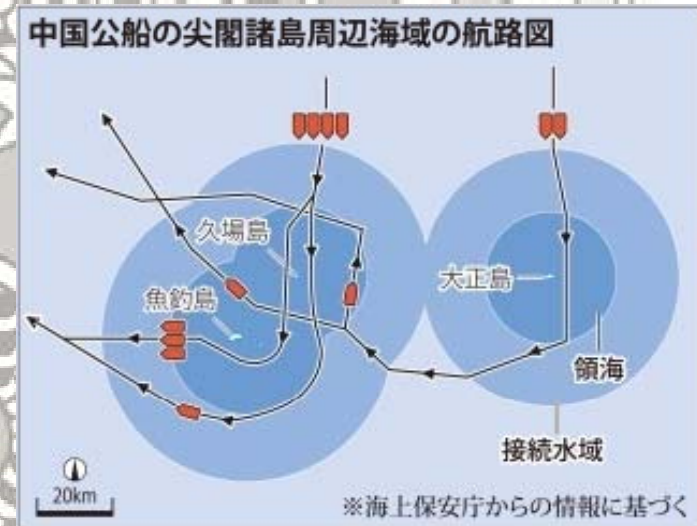
図表 13-2 中国国防費の概念図



(出所) 諸資料から筆者作成。

日本近海の中国船

- 尖閣諸島付近への接近、領海内侵入
- 日本周回
- 琉球諸島付近海域の通過
- 護衛艦への異常接近
- 日本のEEZでの演習

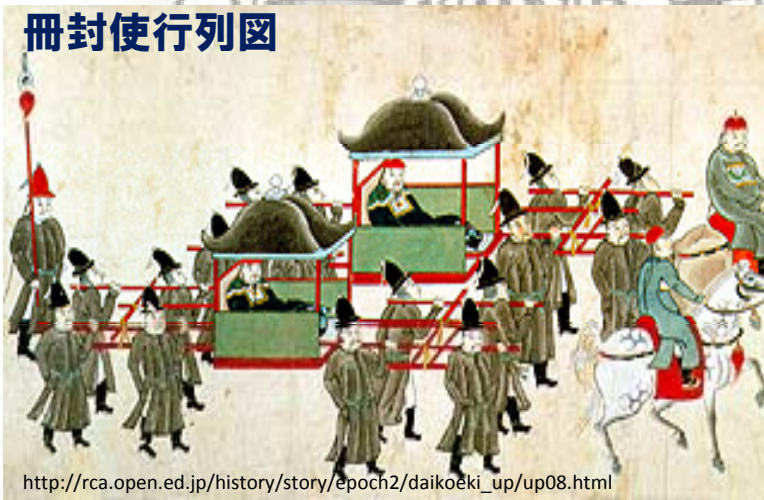


<http://mainichi.jp/select/news/20120915k0000m010112000c2.html>

尖閣諸島に対する中国の主張

- 3つの文献
 - ①琉球冊封使の記録、②海防区域『籌海図篇』、③西太后の詔書
- 1つの根本問題 → 「中国」とは何か。

籌海図篇



日本の立場

- **尖閣諸島について領土問題はない。**
- **日本は調査し、1895年無主の土地であることを確認して編入した。**
- **中国の挙げていることは、国際法上の根拠となしえない。**
- **1971年12月まで、中国は尖閣諸島が日本の領土であることを認めていた。公式文書、地図、人民日報なども。**

現状と今後の展望

- 中国は不満か。メンツは問題であったか。
- 中国は長期戦となることを予測。
「我慢比べ」とも。
- 「話し合いによる解決」を主張。中国の主張に
国際的理解。日本からも？
- 日本はどう対処すべきか。

領空侵犯

- 航空機による侵犯の危険性
- 中国の行動はエスカレートしたか。
- タイミングに意味はあるか。
- 今後も繰り返されるか。



ご清聴ありがとうございました

